

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	T O D A Y 児童デイサービス鶴ヶ舞		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 3日		2026年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年 12月 3日		2026年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節ごとで様々な経験をしてもらうために季節に因んだイベントなどを多く開催しています。	施設では行事を大切にしており、季節を感じられるよう装飾やレクリエーションなどを変えて取り組んでおります。子どもたちは見て楽しむ機会が増える視覚的な支援も工夫しております。外出のレクリエーションができる機会は少ないですが実際に外に出て楽しむ事も工夫して行っております。	視覚的以外にも療育支援にて制作のレクリエーションなどを多く行っていき様々な経験を子どもたちがしていけるように取り組んでいきます。
2	施設の広さを生かした運動プログラムで子どもたちの健康面をサポートしています。	大きい指導訓練室で大縄跳びやマット運動、ダンスなど行っており、子どもたちの体力向上を意識的に目的として取り組んでおります。児童の年齢も様々で体格も違うので児童にあった体の動かし方を運動プログラムにて支援しております。	いろんな年齢層の子どもたちがいるので参加があまりできない子どもたちも興味の引くような運動プログラムを施設全体で会議を行い療育をしていきます。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との連携が上手くできておらず情報共有が少ない	外部の中で保護者様とは情報交換を行ってはいるが外部との連携に関しては上手くできていない為、その時間を作り対応していく事が課題になります。	改善に向けて、定期的に地域の連携機関と連絡を取り、情報共有を都度行い、改善してまいります。保護者様とは送迎時の引き渡し対応時、日頃の情報提供をし強化してまいります。時間がある際は地域の連携機関とも密にして連携してまいります。
2	多機能施設だが未就学の児童発達障害の児童が少ない	主軸が放課後等デイサービスとして運営を行っているので児童発達障害の問合せなども少ない事が要因です。児童発達からの受け入れも積極的に行っていく事も課題になります。	相談員さんと密に連携を取っていき、児童発達障害の児童さんも積極的に見学等していただき通っていただけるように対応してまいります。
3			